

ながはま見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちょびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆ〜す

5月23日(土)

リフトで空中散歩

新型コロナウイルス感染防止のため運休となっていた賤ヶ岳のリフトが営業を再開しました。

片道およそ6分のリフトはゆったりと空中散歩を楽しめ、山頂には清々しい景色が待っています。リフトを利用した人たちや登山した人たちは、山頂から望む余呉湖や長浜の街並みを眺め、さわやかな空気を吸って、身体と心をリフレッシュしていました。



5月24日(日)

市役所でドライブスルー賑わう

市内の飲食店の料理を提供する「KOHOKUドライブスルー市役所マルシェ」が開かれ17店舗が出店しました。

料理を買いに訪れた人々の中には、顔馴染みの店員から車窓越しに商品を受け取り、再会を喜びあう姿もみられました。

主催した長浜青年会議所の小林大英理事長は、「これからもみんなの笑顔につながるようなことができれば」と今後の意気込みを語りました。



5月27日(水)

歴史を裏付ける発見

木之本町の真宗大谷派の寺院、明楽寺本堂から安永年間(1772~81)の年号が記載された下張り文書が発見されました。本堂来迎壁の「蓮水図」を張り替える作業で発見された下張り文書約1,000点の内3点に安永2~4年の年号が記されていました。

明治期に書かれた「明楽寺明細記」に記述されている建立時期を裏付ける発見となりました。



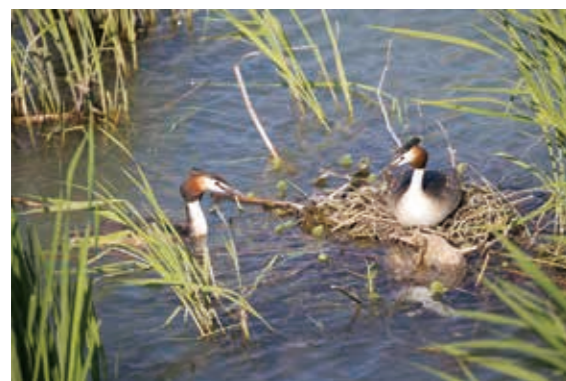
5月29日(金)

夫婦仲良く子育て中！カンムリカイツブリ

湖北町今西の余呉川河口付近で、カンムリカイツブリの子育てを見ることができました。

卵から孵ったひなが親の背中に乗り、もう一方の親がえさをひなに与え、夫婦仲良く子育てを行います。

ここで子育てをするカンムリカイツブリたちは、人間への警戒心が低く、多くの巣を間近に観察できることから、全国屈指の観察ポイントとなっています。



5月31日(日)

命をつなぐ献血に多くの人が協力

新型コロナウイルスの影響で献血協力者の減少が続く中、血液不足を補うため、西友長浜楽市店の駐車場で「1000人献血の会」主催による献血が実施されました。

当日は雨にもかかわらず、幅広い世代の人が来場。中には「献血者が足りない」と聞いて来場した」と話す人もありました。

この日は、104人もの方が献血に協力。貴重な血液は輸血を必要とする人の助けとなりました。



6月1日(月)

学校再開で交通安全呼びかけ

市内の学校が再開したこの日、虎姫学園の通学路で交通安全見守り活動が行われました。

活動には、警察や交通安全協会役員、市職員など約40人が参加。安全運転を呼びかける幟旗やハンドプレート掲げて通行車に注意を促したほか、登校する学園生たちに「車に気を付けて」と声をかけ、啓発を行いました。またこの日は、可搬式速度違反自動取締装置による取り締まりも実施されました。

6月1日(月)

コロナウイルス感染症終息を願う希望の灯

新型コロナウイルス感染症終息を願い「Cheer up! 花火プロジェクト」が全国で一斉に開催され、長浜港では3分間60発の花火が打ち上げられました。

医療従事者を応援する青色の花火も上がり、最後は金色の光が瞬き垂れ下がる「金冠」で盛大に締めくくられました。

ひと時の美しい花火が、この感染症で厳しい状況に置かれている多くの人への励ましになりました。



6月2日(火)

みんなで育てるサツマイモ

とらひめ認定こども園の4、5歳園児70人が、園近くの畑でサツマイモの苗植えを体験しました。

園児たちは苗を植え、やさしく土をかぶせ、水やりをして「おいしいお芋になーれ」と大きな声でおまじないをかけていました。秋には収穫を体験する予定です。

ウイルスの感染予防対策をしたうえでの行事でしたが、園児たちは楽しそうに目を輝かせて取り組んでいました。